ご一緒します、いい人生

RESORTTRUST GROUP

証券コード：4681

第48期 事業報告書 株主通信 Vol.45

2020年4月1日～2021年3月31日

横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート／ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜
イタリア料理 RISTORANTE OZIO

TO OUR SHAREHOLDERS
株主の皆様へ

CEO 伊藤 勝康

COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、当社グループにおきましては、一部施設の休業や営業時間の短縮、稼働率の低下など、厳しい環境の中での事業活動を強いられております。当期の経営成績は、一般ホテルの収益性低下に伴い減損損失を計上したことから、最終利益は赤字となりましたが、コロナ禍においても主力の会員制の事業は底堅く推移し、大型物件の開業に伴う不動産収益の計上も寄与して売上高や営業利益、経常利益は増加となりました。

こうした環境の激変を受け、中期経営計画「Connect 50」を一部見直すとともに、コロナ禍で再確認した当社グループの存在意義を「グループ アイデンティティ」として新たに宣言いたしました。これらのもと、これからもお客様に寄り添い、一生涯お付き合いしていただける企業グループを目指すとともに、業績の早期回復に邁進してまいります。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康
代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW
トップインタビュー

コロナ禍の環境変化を踏まえ、「Connect 50」ローリングプランを策定。一生涯お付き合いいただける企業グループへと、着実に歩を進めてまいります。

ホテルの休業および稼働率低下で厳しい中、会員権事業、メディカル事業は好調を維持

―― 当期の事業環境と経営成績についてお聞かせください。

当期は第1四半期において、国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出の自粛や訪日外国人旅行者の激減などにより、すべての事業が大幅に停滞いたしました。第2から第3四半期にかけては、会員制の事業を中心にそれらが復調に転じ、9月には「横浜ベイコート倶楽部 ホテル＆スパリゾート」および「ザ・カハラ・ホテル＆リゾート 横浜」が開業、繰り延べられていた不動産収益を一括計上したことも大きく業績貢献しました。第4四半期には再び感染拡大に対する懸念が広がり、事業活動はやや停滞したもの

の、メディカル事業においては大きく業績伸展しました。

こうした結果、当期の連結業績については、売上高および営業利益、経常利益は増加した一方、国内外の一般向けホテルなど今後の需要の見通しが不透明な事業所について減損損失約220億円を計上したことで、最終赤字となりました。会員権事業では、不動産収益一括計上のほか、会員権販売が堅調に推移し大きく増収増益となりましたが、ホテルレストラン等事業は施設のクローズや稼働率低下の影響を受け減収減益と苦戦しました。メディカル事業は安定した需要に支えられ増収増益、当事業では過去最高の業績結果となりました。

「Connect 50」ローリングプランが始動

―― 中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

当社は2018年4月から、2023年3月までの5年間を対象とした中期経営計画「Connect 50～ご一緒します、いい人生～」に取り組んでまいりました。当計画では、各事業で築き上げた唯一無二のブランドを守りつつ、グループシナジーの追求などを図り、様々な施策に取り組みました。コロナ禍によって、業績数値としては当初の計画に対し遅れをとったものの、「ザ・カハラ・ホテル＆リゾート」ブランドの展開やポイントクラブの導入、事業間連携の強化など、各種基盤の強化は当初の想定以上に進展したと考えております。

コロナ禍によって、主に一般向けホテル事業が大きな影響を受けており、今後の需要に関する見通しも不透明となっておりますが、一方で会員制ビジネスの強みを認識する機会にもなりました。こうした事業環境の変化を踏まえ、新たに2021年４月から2024年３月までの３年間を対象とする「『Connect 50』ローリングプラン」を策定することといたしました。また同時に、改めて会員制の基本に立ち返り、お客様に一生涯お付き合いしていただける企業グループを目指すため、グループ共通の「アイデンティティ」を明確化いたしました。

―― ローリングプランの概要についてご説明ください。

基本戦略そのものは、以前の計画から変更はございません。グループ一体となってさらなる付加価値の創出や事業領域の開拓に取り組むとともに、ITテクノロジーを幅広く取り入れ、経営全般における質的変革と生産性向上により、長期安定的な成長基盤の実現を目指してまいります。

一方、開発スケジュールと財務目標につきましては、事業環境に合わせて若干の変更がございます。開発スケジュールにつきましては、コロナ後のニーズを見据えた会員制物件の開発に注力し、2023年度までに中部、関東、関西それぞれで新規のリゾート物件を発売する計画です。物件規模としては中規模を想定、よりプライベート感を重視し、お部屋でゆったりと過ごしていただく「ディスティネーションホテル」の実現を目指しております。会員制総合メディカル倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」に関しては、当面は既存施設のフロア拡張などでキャパシティを拡大し、2024年以降に関西、関東で新規施設の開業を目指してまいります。なお、関西の物件に関しては、2024年春に大阪・中之島にオープン予定の「未来医療国際拠点」への入居がこのたび決定いたしました。

財務目標に関しては、ローリング最終年度となる2024年３月期に、連結売上高1,900億円、連結営業利益200億円などと再設定いたしました。新規開発スケジュールの見直しによる影響に加え、2021年4月から適用される収益認識基準の変更による影響も反映

しております。

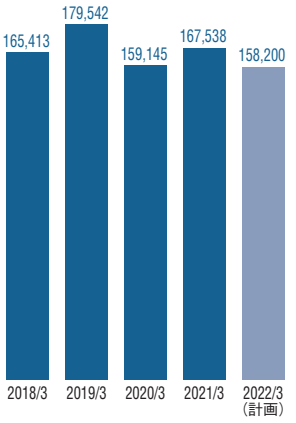
今後の事業環境につきましては、2022年3月期は「ウィズコロナ」の過渡期として、一般向けホテルの需要減退やシニア層の外出自粛などが続く一方、安心・安全を訴求できるリゾートやメディカルの会員制サービスへのニーズは拡大するものと見ております。2023年3月期以降は、コロナ後のニューノーマルにおいて、「会員制」に求められる新たなスタンダードにチャレンジしていく中で、会員権事業の新商品の展開やメディカル事業のサービス拡大など、ビジネスチャンスも広がってくると考えております。全体的には今後も厳しい事業環境が続くものと想定されますが、会員制ビジネスの基本に立ち返り、会員制の強みを活かしたグループ施策を展開すると同時に、継続的なコスト構造の見直し、各種経営基盤の強化等により、中長期でのサステナブルなグループ経営の実現に取り組んでまいります。

グループアイデンティティを制定

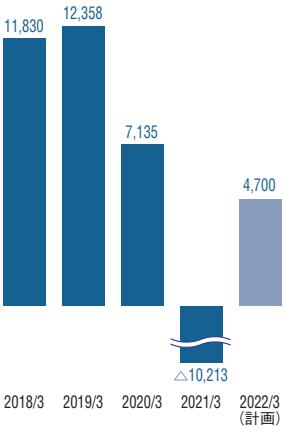
―― グループアイデンティティについてご紹介ください。

当社グループはこのたび、グループアイデンティティ「ご一緒します、いい人生　より豊かで、しあわせな時間（とき）を創造します」を制定しました。コロナ禍において、我々のベースである会員制ビジネスの強み、そして当社グループの存在意義を改めて認識する必要があると考えました。余暇や健康・医療に関わるあらゆるライフステージのパートナーとしてお客様へ“幸せ”を提案し、一生涯のお付き合いをしていただける企業グループを目指す。そういった姿勢をアイデンティティとして宣言することで、グ

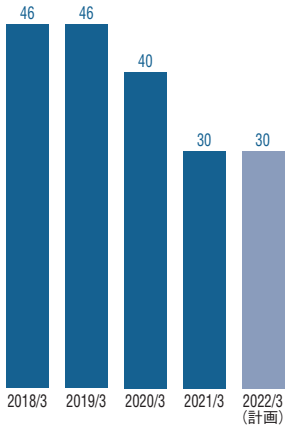
売上高（百万円）



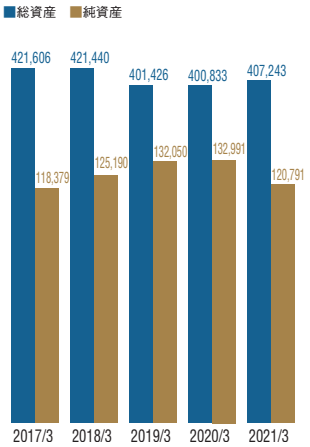
当期純利益（百万円）



1株当たり配当金（円）



総資産（百万円）／**純資産**（百万円）



※予測に関する数値は、2021年3月期決算発表時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予測と異なる可能性があります。

ループ内の意思統一を図るとともに、お客様にも我々の想いを広く知っていただきたいと考えております。このアイデンティティをベースに、会員制の強みを最大限に活かし、すべての事業において顧客数を増加させ、顧客一人当たりの利用額を増やしていくことで、持続的な成長を実現してまいる所存です。

新ブランドホテルの第一弾を開発中

―― 次期の事業計画と業績見通しについてお聞かせください。

コロナ禍が収束するには今しばらく時間を要すると見られ、今後も当社グループを取り巻く事業環境は大変厳しい状況で推移する

「リゾートトラストグループ アイデンティティ」の制定
（2021年4月1日）

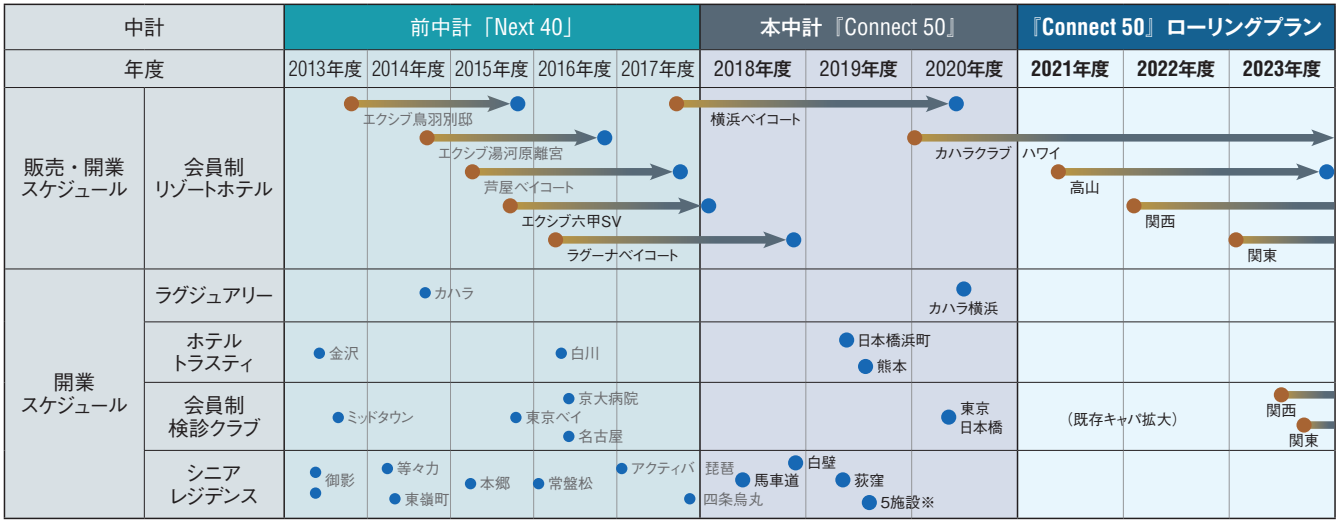
今般のコロナ禍にあって、私たちは当社グループのミッションを改めて再確認することができました。リゾートトラストグループは、グループ共通の自己像を認識した上で、これからもお客様に寄り添いながら共に歩み続けるため「グループアイデンティティ」を以下の通り宣言し、グループでより一体となって、「リゾートトラストグループならでは」の価値の実現に取り組んでいきます。

ご一緒します、いい人生

より豊かで、しあわせな時間（とき）を創造します

販売および開業スケジュール（2021年5月14日時点）

●販売開始　●開業・取得



※介護付有料老人ホーム「フェリオ多摩川」、「フェリオ成城」、「フェリオ天神」、「フェリオ百道」、および住宅型有料老人ホーム「レジアス百道」

と想定しております。とくに一般向けホテル事業においては、出張需要やインバウンド需要の本格回復には至らないと見ております。

このような状況のもと、2022年3月期の連結業績については、売上高および営業利益、経常利益は減少するものの、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に増加し、黒字転換を果たせる見通しです。売上高や営業利益が2021年3月期に比べて減少する要因は、不動産収益の計上タイミングの問題や収益認識基準の変更による影響など、会計上の扱いによる影響が大きく、こうした影響を除いた実質ベースでは増収増益となる見通しであることをご理解いただきたくお願い申し上げます。

期中には、新ブランドホテルの第一弾となる岐阜県高山市の物件の販売を開始する予定です。北アルプスや高山市街を一望できる好立地を活かし、客室内で風景を楽しみながら食事や温泉を満喫していただけるなど、プライベートスペースを大幅に充実させる計画です。また、ホテル内に美術館を併設するなど、新タイプの「ディスティネーションホテル」として、ハード・ソフトの両面で様々な新たな試みを取り入れたいと考えております。このほか4月には、「HIMEDIC 山中湖倶楽部」の新コースの販売を開始しております。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループの事業領域は、人生そのものであると認識しており、我々の存在意義は、当社グループに関わるすべての人々の豊かさと幸福を追求することにあると考えております。そのためには、余暇と健康に関わる様々な社会的課題について、当社グループが保有する余暇と健康に関するあらゆるノウハウやサービスを融合させ、新たな価値を創出することで解決していかねばなりません。当社グループはこれからも、常にステークホルダーの皆様と共に、次代の変化を捉えながら、商品・サービスを協創する企業グループとして、サステナブルな経営を続け、企業価値向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO　伏見 有貴

定量イメージ（～2023年度）

（億円）

指標	現中計3年目（2020年度）	ローリングプラン（最終2023年度）	備考
売上高	1,675	1,900	過去最高水準の売上、利益を見込む
営業利益	147	200	
（繰延調整後 営業利益）	76	180	
経常利益	176	200	
親会社株主に帰属する当期純利益	△102	130	
配当性向	― ※最終赤字	40%目安	過去最高配当額を見込む
ROE	△8.4%	10%目安	変更なし

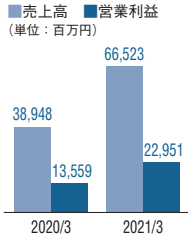
REVIEW OF OPERATIONS

セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations

東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発や会員制ゴルフ場の運営と、それらの会員権販売などを行っております。



売上高

66,523 百万円

（前年同期比 70.8％↑）

営業利益

22,951 百万円

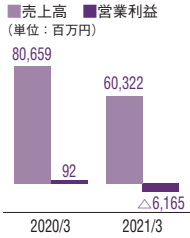
（前年同期比 69.3％↑）

会員権事業におきましては、2020年9月に「横浜ベイコート倶楽部」が開業を迎え、繰り延べてきた不動産収益を一括計上したこと、および、海外渡航制限などによりニーズの高まったハイグレードなホテル会員権の販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations

本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営などを行っております。



売上高

60,322 百万円

（前年同期比 25.2％↓）

営業利益

△6,165 百万円

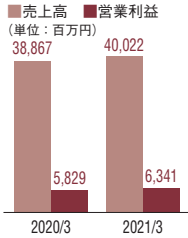
（前年同期比 ―％↓）

ホテルレストラン等事業におきましては、4月～6月における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛要請等の影響で施設をクローズしたこと、旅行や観光への消費者マインドの低下、特に法人従業員や団体、婚礼、宴会、会議等の利用の減少などにより、ホテル稼働率が減少したこと、特に一般ホテルにおいては、訪日外国人旅行者やビジネス利用客の著しい減少の影響を受けたことなどにより減収減益となりました。

メディカル事業

Medical Operations

高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



売上高

40,022 百万円

（前年同期比 3.0％↑）

営業利益

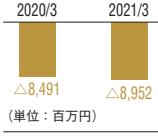
6,341 百万円

（前年同期比 8.8％↑）

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が成長しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員募集、入居者募集の営業活動が制限されたこと、健診施設では施設のクローズを行ったことなどの減益要因がありました。一方で健康志向の高まりから「会員制医療サービス」が注目され、メディカル会員権の販売が好調に推移したことにより増収増益となりました。

本社費（全社費用）

Overhead expenses



対 営業利益

△8,952 百万円

（前年同期比 △461百万円）

Our Invitation to you
Vol.1

ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜

THE KAHALA
HOTEL & RESORT

ハワイ・ホノルルで50年余りの歴史を誇る名門ホテルの名を冠し、その格式と伝統に彩られた「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」。エレガンスな空間と上質なホスピタリティでゲストをお迎えいたします。

1 角部屋の眺望を活かしたキングルーム　2 みなとみらいを一望するザ・カハララウンジ
3 最上階でお客様を迎えるスカイロビー

2021年3月にレストラン業界に対する応援の想いから、「アジアのベストレストラン50」へ、オンライン授賞式典の会場として、「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」を提供しました。詳しくは以下のURLをご覧ください。
https://www.resorttrust.co.jp/ps/qn3x/guest/news/showbody.cgi?CCODE=1&NCODE=130

ディレクターオブコンシェルジュよりメッセージ

ザ・カハラ・
ホテル&リゾート 横浜
ディレクターオブ
コンシェルジュ
阿部 泰年

<プロフィール>
横浜出身。1997年 パンパシフィックホテル横浜に入社。2007年以降は「コンラッド東京」、「マンダリンオリエンタル東京」など名だたるラグジュアリーホテルで研鑽を積む。2015年 世界的なコンシェルジュ組織　レ・クレドール（Les Clefs d' Or）の正会員となる。2019年7月 日本コンシェルジュ協会の会長に就任し、現在に至る。

ラグジュアリーホテルでありながら、「なんとなく行きたくなる」「なんとなく落ち着く」お客様にそう思っていただけるホテルを目指しています。

ホテルに入った瞬間に感じる圧倒的な非日常感の一方で、客室では、ご自宅にいるような安心感とともにお過ごしいただくことが理想です。つまり、【非日常の中の日常】を作り出したい。また当ホテルのご利用時に、お客様に何かしらのサプライズを体験していただけるよう心がけています。例えば、お客様が自宅で使われているものと同じ高さ15cmのそば殻枕をご用意するなど、ホテルにいながら日常感を感じていただくこと自体が、小さな“Wow！”につながります。こうしたサプライズは、お客様を知ることなく実現しません。一人で把握できる情報量には限りがありますから、チームでの情報共有を心がけています。

これからのホテルは、ホテルで働く「人」で、差別化が進むと考えています。私は常々チームのメンバーに「好きにやってきてください」と伝えています。まずは、自分で考え接客を楽しみ、自身が笑顔になることが、お客様の笑顔に出会うための出発点です。笑顔のチームで、お客様の言葉にできない「なんとなく」に込められた想いを上回る体験を提供してまいります。

SDGs

kaHANAプロジェクト スタート

ザ・カハラ・ホテル＆リゾート 横浜はKISCA*の活動の一環として、横浜市が掲げる「花と緑あふれる街づくり」への貢献を目指し、「kaHANAプロジェクト」をスタートしました。毎年、春と秋に横浜市で実施される「ガーデンネックレス」に参画して地元小学校の皆様と共に花植えを実施するなど、継続的に活動を続けてまいります。

花植えを行う横浜市立みなとみらい本町小学校の皆様とマイケル総支配人

▶kaHANAプロジェクト実施風景を動画で紹介
https://players.brightcove.net/5197835856001/default_default/index.html?videoId=6245331674001

KISCAとは Kahala's Initiative for Sustainability, Culture & the Artsの略。自然保護活動及びその土地の文化&芸術を守り、次世代へと紡ぐ活動。スピリット・オブ・カハラを引き継ぐ取り組みです。

会員権事業

愛知県蒲郡市にホテル開発用地取得

この度、完全会員制リゾートホテル「ラグーナベイコート倶楽部 ホテル＆スパリゾート」に隣接する用地を取得いたしました。三河湾を望む眺望良好な自然に囲まれた土地にてリゾートホテルなど新たな事業展開を目指します。

取得資産の内容

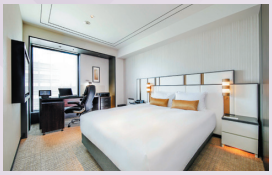
所在地	愛知県蒲郡市海陽町二丁目8番1
土地	土地面積：23,082.00㎡

ホテルレストラン等事業

「ホテルトラスティ プレミア 日本橋浜町」

長期滞在向けに一部客室をリニューアル

「ホテルトラスティ プレミア 日本橋浜町」では、10階客室を長期滞在向けにリニューアルし、4月9日より宿泊予約の受付を開始いたしました。長期滞在にも快適な客室環境をご用意し、お客様のニーズに応えてまいります。



LONG-STAY「ビジネススタイル」

「ホテルトラスティ」「ホテルトラスティ プレミア」

RTTGポイントクラブ会員優待料金キャンペーン 期間延長

「ホテルトラスティ」「ホテルトラスティ プレミア」の全9施設において、RTTGポイントクラブ会員様に特別宿泊料金にてご利用いただけるキャンペーン期間を、ご好評につき2022年3月31日まで延長することにいたしました。

詳しくは以下のURLをご覧ください。
https://www.trusty.jp/information/?ac=detail&num=0001

「ホテルトラスティ」「ホテルトラスティ プレミア」の長期滞在の詳細は以下のURLをご覧ください。
https://www.trusty.jp/information/?ac=detail&num=4673&utm_source=google&utm_medium=release&utm_campaign=2103IR

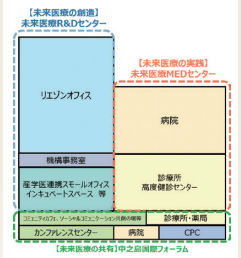
RTTGポイントクラブの詳細に関しましては、右のURLをご覧ください。 https://point.rttg.jp/

TOPICS
トピックス
メディカル事業

リゾートトラストグループのメディカル事業は、今年で28年目となります。人生100年時代の健康長寿の実現を目指し、病気を未然に防ぐ予防医療に加え、「がんで大切な人を亡くさない社会を作りたい」という想いから、がんの早期発見、早期治療にも力を入れています。新型コロナウイルス感染症の流行により、健康への意識がますます高まるなか、堅調な成長を続けるメディカル事業の取り組みをご紹介します。

グランドハイメディック倶楽部　先端医療

『未来医療』の推進を目指し 医療機関・企業が集結



株式会社ハイメディック※は、2024年春にオープン予定の『未来医療国際拠点』（大阪・中之島）への入居に関する基本合意書を締結しました。再生医療をベースにゲノム医療、AI、IoTの活用など最先端医療を提供する医療機関とその開発に取り組む企業が集結する拠点に、ハイメディックは、グランドハイメディック倶楽部の検診拠点を開設予定です。さまざまな機関との連携が、会員様へのより幅広い医療サービスのご提案につながるものと考えています。

※メディカル事業の主力を担う株式会社ハイメディックは当社の100%子会社

＊提案時点（2019年1月）のイメージパースであり、今後変更の可能性があります。
＊提供：中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者

新コース会員権販売　高精度検診

「HIMEDIC山中湖倶楽部」 新コース会員権販売開始

株式会社ハイメディックが運営する、会員制総合メディカル倶楽部「HIMEDIC山中湖倶楽部」では、2021年4月より『HIMEDIC山中湖倶楽部 Wコース NEO（ネオ）』『HIMEDIC山中湖倶楽部 Wコース NEO10（ネオテン）』の会員募集を開始、7月から検診を実施予定です。新コースは、「大切な人の健康を守りたい」という会員様からの声に応えて誕生しました。会員様ご本人を含め合計5名までの検診が可能となり、医療相談、特別外来などのメディカルサービスもご利用になれます。今後も、会員様の声を反映した検診コースのご提供を目指します。

予防医学　がん　共同研究

がんの早期発見 マイクロRNA※検出技術の実用化に向け 株式会社東芝と共同研究を開始

リゾートトラストグループが運営支援する医療法人社団ミッドタウンクリニック、および株式会社ハイメディックは、株式会社東芝が開発した血液中のマイクロRNAを使ったがん検出技術の実証を行うため、同社との共同研究契約を2021年3月に締結しました。この技術は研究開発レベルで、13種類のがんの患者と健常者を短時間に高い精度で網羅的に識別できることが確認されています。本共同研究は、グランドハイメディック倶楽部 東京日本橋コースにおいて、他のがん検診と組み合わせて検証を行う予定です。

※マイクロRNA
血液中にも存在している遺伝子やタンパク質を制御している20塩基程度の短い核酸分子。最近、血液中のマイクロRNAの種類と量から様々ながんを早期に見つけられる可能性のあることが分かり、期待されている。

医療サービスの向上　高度な画像診断

遠隔画像診断リソース強化
株式会社ダイヤメディカルネットの株式取得

当社の連結子会社である株式会社 iMedicalを通じて、遠隔画像診断支援サービスを展開する株式会社ダイヤメディカルネットの全株式を取得しました。これにより当社グループの遠隔画像診断支援サービスは業界第二位の事業規模を有すると共に、当社グループの連携医療機関における読影体制をさらに強化することができました。

TOPICS
トピックス

ゴルフ事業

リゾートトラストレディス2021 セントクリークゴルフクラブで開催

第29回目となる「リゾートトラストレディス」が5月27日(木)から30日(日)の4日間、愛知県の「セントクリークゴルフクラブ」にて行われました。今大会を制したのは、勝 みなみ選手。新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客にて開催されましたが、ジャック・ニクラウスの設計した名門チャンピオンシップコースを舞台に、トッププレイヤーによる熱戦が繰り広げられました。

優勝した勝 みなみ選手

セントクリークゴルフクラブ

ダンロップ・スリクソン福島オープン グランディ那須白河ゴルフクラブで開催

「ダンロップ・スリクソン福島オープン」が、6月24日（木）から27日（日）の4日間、福島県の「グランディ那須白河ゴルフクラブ」にて開催されました。ゴルフコース設計界の巨匠ロバート・T・ジョーンズ・シニアが設計した戦略性に富む本格チャンピオンシップコースで、那須連山の美しい自然を背景に、選手たちの白熱したプレーが展開されました。

グランディ那須白河ゴルフクラブ

INFORMATION
お知らせ

株主優待券（昨年発行分）の有効期限延長について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、下記の通り2020年6月末にお送りした株主優待券について有効期限を延長しております。

（有効期限→2021年7月10日⇒2021年9月30日）

株主優待券における「ホテルトラスティ」宿泊代金への適用変更

※2021年7月1日より変更

【変更前】ホテルトラスティ（一般ホテル）宿泊への優待券適用は基本料金からの割引

▼

【変更後】ホテルトラスティ（一般ホテル）宿泊への株主優待券適用はホテルトラスティ公式サイト※からのご予約料金、または、RTTGポイントクラブ会員様（会員登録要）価格からの割引

※素泊まりに限りご利用可能です。他社サイトからの予約は対象外です。

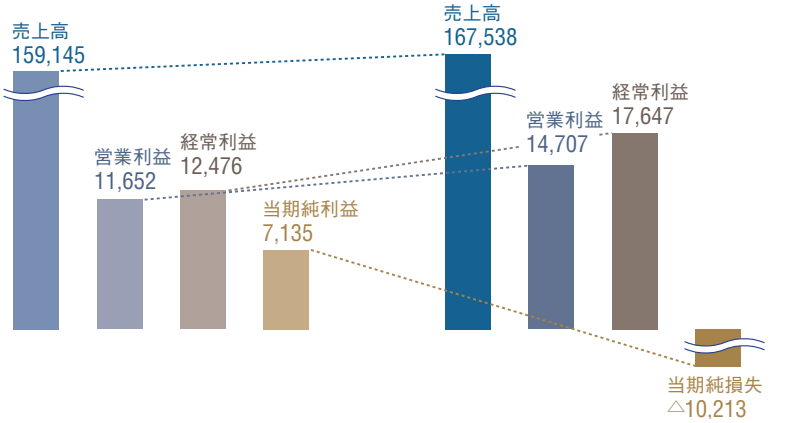
株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページ内の「株主優待情報」をご参照ください。
https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

収益の状況

単位：百万円

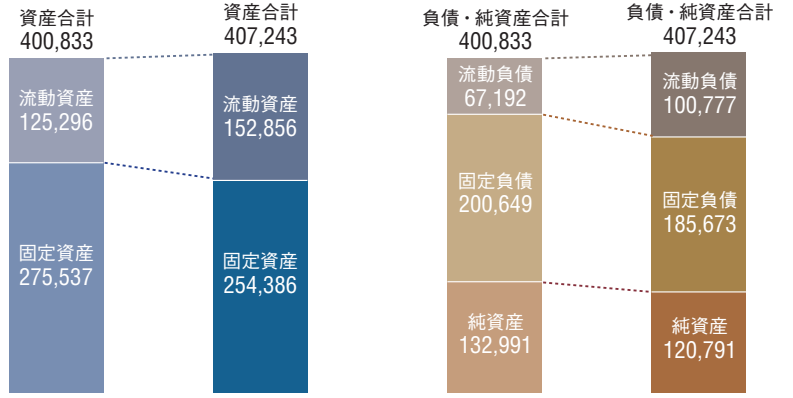


前連結会計年度
2019年4月1日～2020年3月31日

当連結会計年度
2020年4月1日～2021年3月31日

財務の状況

単位：百万円



前連結会計年度
2020年3月31日現在

当連結会計年度
2021年3月31日現在

前連結会計年度
2020年3月31日現在

当連結会計年度
2021年3月31日現在

連結決算の概要

損益

国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛等により、会員権事業において会員権販売の営業活動が制限され縮小したこと、ホテルレストラン等事業においてホテル等施設のクローズを行ったこと、メディカル事業において健診施設のクローズやシニアレジデンスへの新規入居が鈍化したことなど、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響や会員制ホテルの開業に伴う収益認識等により、**売上高**は167,538百万円（前年同期比5.3%増）、**営業利益**は14,707百万円（前年同期比26.2%増）、**経常利益**は17,647百万円（前年同期比41.5%増）、親会社株主に帰属する**当期純損失**（△）は減損損失を計上した影響で△10,213百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益7,135百万円）となりました。

資産

流動資産は、前連結会計年度に比べて22.0%増加し、152,856百万円となりました。これは、主に現預金が27,203百万円、会員権販売に伴い営業貸付金が4,719百万円、有価証券が10,196百万円、それぞれ増加した一方で、販売用不動産が6,409百万円、仕掛販売用不動産が8,671百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。**固定資産**は、前連結会計年度に比べて7.7%減少し、254,386百万円となりました。これは、主に一般ホテル事業等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた事業所において減損損失を計上したことなどにより、有形固定資産が17,382百万円、無形固定資産が1,361百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債

流動負債は、前連結会計年度に比べて50.0%増加し、100,777百万円となりました。これは、主に一年内返済予定の長期借入金が11,847百万円、一年内償還予定の新株予約権付社債が29,728百万円、それぞれ増加した一方で、会員制ホテルの開業に伴い前受金が18,480百万円減少したことなどによるものであります。**固定負債**は、前連結会計年度に比べて7.5%減少し、185,673百万円となりました。これは、主に新株予約権付社債を流動負債に振替えたことで29,770百万円減少した一方で、長期借入金が12,988百万円増加したことなどによるものであります。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度に比べて9.2%減少し、120,791百万円となりました。これは、主に減損損失を計上したことなどにより利益剰余金が13,681百万円減少したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前連結会計年度 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	当連結会計年度 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで	前期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,096	22,981	3,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,247	△13,577	△5,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,364	22,012	35,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△37	△33
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,518	31,379	33,898
現金及び現金同等物の期首残高	23,895	21,376	△2,518
現金及び現金同等物の期末残高	21,376	52,756	31,379

連結決算の概要

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金は、前連結会計年度と比べ、税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失の減少、減損損失の増加などにより22,981百万円の増加（前連結会計年度比3,885百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金は、前連結会計年度と比べ、有価証券の取得による支出の増加などにより13,577百万円の減少（前連結会計年度比5,330百万円の減少）となりました。

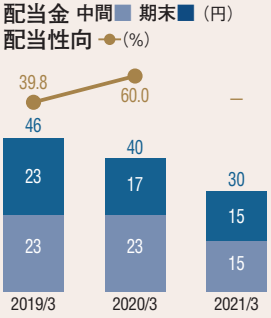
財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金は、前連結会計年度と比べ、長期借入れによる収入の増加などにより22,012百万円の増加（前連結会計年度比35,377百万円の増加）となりました。

IR TOPICS

期末配当を予想よりも5円増額の15円に

期末の１株当たり配当金については当初10円と予想しており、中間配当実績15円と合わせ年間25円を予定しておりました。期末に計上しました一般向けホテルの減損損失についてはキャッシュ・フローに直接影響を与えるものではなく、会員権事業等によるキャッシュ・フローが順調にプラスで推移している状況に鑑み、期末配当額について5円増額の15円とし、年間配当30円といたしました。



ESG TOPICS

サステナビリティサイト開設

当社は、公式サイト内の「CSRサイト」を刷新・拡充し、名称も新たに「サステナビリティサイト」として掲載を開始しました。持続可能な社会の実現に向け、環境・社会におけるさまざまな課題解決に取り組む当社グループの活動内容を、わかりやすく情報発信するサイトとしていきます。

「サステナビリティサイト」トップ画面

[URL] https://www.resorttrust.co.jp/csr/

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/

グループ会社一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html

株主優待

https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/

ネットでアンケート
Provided by TAKARA Printing

株主様 WEBアンケート ご協力のお願い

アンケートにご協力いただいた株主様の中から抽選で100名様にRTTGポイント1,000ポイントをプレゼントいたします。

※抽選対象者：2021年7月20日（火曜日）までにRTTGポイントクラブにご入会いただいた方

回答期限	2021年7月20日（火曜日）まで

アンケートへのアクセス方法

【アクセスコード：4681】
アクセス後、上記コードを入力ください。

パソコンから

以下のURLから
アクセスいただけます。
https://q.srdb.jp/

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。

メールから

enq@q.srdb.jp へ
空メールを送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

アンケートの回答は、「ネットでアンケート」運営会社である宝印刷株式会社が管理します。宝印刷株式会社は、入力いただいた個人情報を、「ネットでアンケート」の運営に関すること以外の目的で使用することはありません。また、当該情報を回答期間最終日から4カ月間で破棄します。

※アンケートに関するお問い合わせ先：kabu@takara-print.co.jp
※平日17時以降、ならびに土、日、祝日および年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。